

募 集 ボランティアさん  
皆様のお力をお貸しください。  
栄福社会は地域の皆様のお力を必要としております。  
ご見学、お問い合わせは、お電話にて承ります。

[お問い合わせ先]  
042-540-1033 (キッチンさかえ担当 齊藤)  
042-540-1035 (サポーターズさかえ担当 猪股)

[発行]  
一般社団法人栄福社会

[住所]  
〒190-0003 東京都立川市栄町三丁目2番地

[Web サイト]  
<http://www.sakaefukushi.jp/>

[事業内容]

〈障害者総合支援法〉

- ◎ キッチンさかえ (就労継続支援 B 型)  
TEL 042-540-1033 FAX 042-540-1035  
営業時間 8:30-16:00  
休 日 土日祝、年末年始

〈介護保険法〉

- ◎ サポーターズさかえ (地域密着型通所介護)
- ◎ ケアサポートさかえ (居宅介護支援事業)  
TEL 042-540-1034 FAX 042-540-1035  
営業時間 8:00-17:00  
休 日 日、年末年始

[駐車場]  
ビル裏手 No14、No15、No16 の  
空いている箇所をご利用ください。



# さかふく通信

vol.147  
2024.7



5月25・26日、立川駅北側のグリーンスプリングで開催されたパラフーフェスに出店しました。なごみやの商品(米バッグ、特製ちび米バッグなど)の陳列方法を工夫した効果もあり、たくさんのお客様に見て頂くことが出来ました。



今年は梅雨入りが遅く梅雨明けが早いと予報されています。体調を崩さず、じめじめした暑い時期を乗り越えていきましょう。  
サポーターズさかえでは皆様のやりたい事を中心に活動を支援します。楽しんで過ごして頂く為に出来る限りご希望に合わせた支援を提供しています。

今年のキッチンさかえは、毎月土曜日開催の通称“土活、で、ソーシャルスキルトレーニング (SST) や就職活動講座を取り入れています。就職活動の講師は、今年3月で終了した就労移行支援ソレイユの元職員です。それまでの経験を活かし、就職を成就させた先輩メンバーを例に挙げながら基本と実践の話をしています。6月22日(土)の第3回就職活動講座では、「履歴書の書き方」のお話をしました。参加したメンバーの集中力は高く、質問や意見交換も活発におこなわれます。就職活動もできる就労継続支援 B 型として再スタートしたキッチンさかえから目が離せなくなると思います。応援よろしくお願いたします。  
(キッチンさかえ 多辺田昌寿)

栄福社会は、半身麻痺や高次脳機能障害をお持ちの方やご高齢の方が、地域の皆様と共に、自らが持つ能力を無理なく伸ばして、それぞれが持つ目標に向かい、あゆみ続けることをサポートします。

## 就労継続支援 B 型キッチンさかえ



作業所（キッチンさかえ）の近くに「栄会館」という施設があります。年に一度六月に「栄会館まつり」という催しを行っています。今年も、この催しに出品しました。会館の外では、フランクフルト、フルーツポンチなどの販売やウォーターコインゲーム。室内では雑貨販売ときらきらキーホルダーづくりなどの子供向けワークショップを行い、たくさんの人で賑わいを見せていました。

キッチンさかえの人気商品の一つスノーボール・クッキーをひとつひとつ丁寧に袋に詰める作業をしている風景です。グリーンスプリングで開催された「パラフープフェス」と「栄会館まつり」のため普段より多めに作ったのですが、あっという間に売れ切れてしまったそうです。

キッチンさかえでは、チラシ・広報誌・名刺・封筒等の印刷、封入封緘および発送作業やノベルティグッズ制作を承ります。また、くるりん食器（再使用食器）の無料貸出もごございます。

お問い合わせ先 電話 042-540-1033 担当 斉藤

## 地域密着型通所介護 サポーターズさかえ



東大和市駅近くにある薬用植物園に行きました。色々な種類の植物を觀賞し、楽しみながら歩行訓練を行いました。

6月の誕生日は4名でした。おめでとうございます。

サポーターズさかえは、1日15名までお越しいただけます。空き状況等は、お気軽におたずねください。随時、見学もお受けいたします。また、ご利用日のお帰り時に、キッチンさかえが作るお弁当のご用意もできるようになりました。

お問い合わせ先 電話 042-540-1034 担当 猪股

## 居宅介護介護 ケアサポートさかえ

「梅雨型熱中症」に注意！！  
暑さに慣れていない時期に、日常生活の中で自分で気がつかないうちに脱水症状と体温の上昇が進んでしまうのが特徴で、梅雨の時期に重なることからそう呼ばれているそうです。



東京消防庁のまとめでは、去年1年間の熱中症による救急搬送者数を月ごとに見てみると、8月よりも6月や7月が多くなる傾向にあるそうです。雨が降り、涼しいと思っても実は熱中症の危険性が高まっていますので日々の生活の注意してください。